

起因物、事故の型：分類不能 - 分類不能の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	業種小コード	労働者規模
1	13～14	売場作業台の下にある紙袋を取ろうとしゃがみ立ち上がった際、作業台右前方角を曲がって小走りできた同僚がぶつかってきて倒れ、首を痛めた。湿布と飲み薬で様子を見ていたが、痛みと吐き気が生じた。	49	80201	500～999
1	9～10	少し右足の大腿部周辺に痛みを感じたため、特に業務に支障をきたす事はなく仕事を続けていた。しかし、そのあと体が動かなくなり、右大腿部頸部骨折と診断され、観血的整復固定術と2週間の入院加療が必要になった。	25	40301	100～299
1	4～5	無線駐車によるお客様待機中、別グループのトラブルに巻き込まれ受傷した。	48	40201	—
1	12～13	本人は、死亡災害の第一発見者であり、また、被災者救助のため直近で鋼材の切断作業を行った。その後、災害の現場を頻繁に思い出す、中途覚醒、食欲不振等の症状が出て、休業となった。	34	11501	500～999
1	2～3	店舗駐車場（敷地内、共用駐車場）出口付近にて、通勤用の車を出口から出して脇の公道に一時駐車し、出口をチェーンで施錠していたところ、車とバッグを盗もうとしている強盗犯に気付いてもみ合いになり、何度か突き飛ばされて尻もちをつき負傷した。	48	140201	10～29
1	23～24	駅にて勤務中の駅務員（被災者）は、上り線ホームから軌道桁（レール）の上に男性客（相手方）が飛び降りるのをモニターにて確認したため、列車緊急停止及び送電停止を行った。その後、駅務員が上り線ホームに向かうと、男性客が軌道桁からホームに戻ろうとしていたため、上り線ホームに引き上げ救出した直後、男性客より暴行を受け負傷	65	40101	100～299

		した。			
2	7~8	工事所へ出勤後、朝礼等の準備業務に従事していた。トイレに入り、自席に戻ろうとしたところ、机にうずくまり倒れ込んだため、救急搬送したものの。	43	30110	—
2	8~9	既設のブロック積天端で墨出し作業中、急に前のめりになり意識を失う。	68	30199	—
2	11~12	当事業所の客先（スポーツクラブ）にて、設置したろ過機の試運転中に客先の従業員が床に座っている被災者を確認した。左半身が汚れていてため本人に話を聞いたが、記憶がなく目撃者もいないとのことであった。一時様子見で休息し、病院へ行った結果、左手首の骨折と頭部、左肩、左胸の打撲、頸椎捻挫をしており、健忘症と診断された。	46	11301	50~ 99
3	22~23	データ取得のため出張中、用務池付近の路上で心肺停止状態で発見された。司法解剖の結果、何らかの原因で頭部・顔面を打撲して第5頸椎を損傷したため歩行困難となり、寒冷状態及び循環不全により死亡した可能性が高いとされた。	59	120109	1000 ~ 9999
3	7~8	積荷の一部をフォークリフトにて荷卸し後、再度車両に乗車しホームへ接車しようとしたが途中で停止した。動き出す様子が見られなかったため、様子がおかしいと感じた同僚が運転席でぐったりしている労働者を発見し、車両より降ろし、すぐに救急車を要請した。	47	40301	50~ 99
3	10~11	事業所内において猫の爪切り保定中、猫に噛まれ左手を負傷した。	31	170209	10~ 29
3	17~18	被災者は、出張所で勤務していた際、電車の音がうるさく感じ、心臓に激しい動悸を感じた。これ以上勤務ができないことを事務所に報告し、交代勤務者を依頼し、交代勤務者と交代し退社した。	57	170209	100~ 299
3	7~8	配送業務研修指導のため、運転手の横乗りで業務遂行中、頭痛がして具合が悪くなったため、トラックの助手席にて仮眠をとりながら事業所へ戻り、そのまま寝かせていたが様子がおかしいことから救急搬送した。	48	40301	—

3	4~5	更衣室で着がえている時に床に倒れて頭を打ったと思われるが、目撃者もなく、被災者が会話不能のため、更衣室でどのようにして倒れたか不明である。被災者と同じ作業をしていた者は全員退社しており、残業は命令していないため、なぜ会社内に残っていたかも不明である。工場内休憩室の床に座り込んでいたため、社員が大丈夫かと声をかけたところ、大丈夫と答えた。更衣室で社員と会話をしたあと、清掃業者が更衣室を消灯した時には誰もいないようだった。その後、社員に倒れているところを発見される。	75	10101	10~ 29
4	7~8	改札でお客さまから線路内へ落とし物をしたとの申告があり、確認のためお客さまと一緒に階段を上っていたところ、左膝裏からプチッと音がし、歩くことが困難になった（左膝関節捻挫、靭帯損傷疑い）。	39	40101	100~ 299
4	15~ 16	サブ入口側のスロープ付近で、忘れ物を渡そうとお客様を追いかけている時に足に違和感を感じる。	35	80209	50~ 99
4	15~ 16	施設入口付近において、キャストのアテンドをしていたところ、ゲストより写真撮影の依頼を受けたため対応していた際、他のゲストが写真撮影の順番を抜かされたと激高し、背後から肩を殴打され、体当たりをされたときに首と腰及び肩を負傷した。	28	140302	1000 ~ 9999
4	0~1	ご入居者のご家族より度重なる叱責、人格を否定するような叱責や、業務に対する根拠のない叱責を受け続け、うつ症状となった。	49	130201	30~ 49
4	20~ 21	早退者が出たため、代わりに客室の清掃を行ったとき（6室程）、足の痺れと痛みが発生した。	60	140101	10~ 29
5	21~ 22	ホテル内1F宴会場において食事の後片付けをしようとした際に、被災者が倒れているのを見つけたとき、声をかけても意識がない状態だった。（倒れた時は誰も見ていない）なお、本人は数か月前に痙攣発作を起こし、てんかんの診断書を提出しているが、服薬していれば通常業務は可能であるとのことで、当日は現場宴会場係になっていた。	54	140101	50~ 99
5	18~	地下2階の電気室にて見積書作成のための電気配線調査中に、支店の派遣社員が倒れた。従来特段体調不良の訴えもなく、業務と発症の因果	50	30301	10~

	19	関係は不明である。			29
5	16～ 17	積み込み作業中、普段と違う言動が見られたため救急搬送された。（原因不明）	65	40301	1～9
5	23～ 24	研修の帰り道で、わいせつ被害に遭い、その後PTSDに罹患した。	19	120109	50～ 99
5	13～ 14	5才児の部屋で担当障害児の見守り中、立っていた自分に他園児2人が前から飛びつき、また後から園児1人が右腕にぶら下がった。右へバランスを崩し右膝を捻り、右膝前十字靭帯断裂をした。	54	130201	30～ 49
5	14～ 15	ホーム階の断路器室でケーブル管路コア抜きに伴う鉄筋探査作業を行っていた。被災者は座った姿勢で作業を監視しており作業が終了し、その場で立ち上がろうとした際に意識を失い、体が直立したままの状態です。右肩部分から転倒し、右顔面を強打した。当時、保護帽を着用し、顎紐も締めていた。	44	30301	10～ 29
6	9～ 10	派遣先施設内フロアにて、当日、外出許可が下りていた利用者を利用者の息子が連れ出す際、許可が下りていない他の利用者も一緒に連れていこうとした為、引き止めたところ口論となり、左胸を3、4回叩かれ、左肩を掴み前後に揺さぶられ、左手首を握られた。その後、痛みを感じながらも、その日の業務は定時まで行い帰宅した。翌朝も痛みがあり、左胸左肩打撲、左手首捻挫と診断された。	63	170101	100～ 299
6	10～ 11	当事業所内作業指導所・障がいのある方の就労訓練施設において、利用者に休憩の声かけを行った直後、男性利用者が女性利用者に対して体の接触を求めて近づこうとしていたため、男性利用者に対し「近づき過ぎないで」と声かけを行った。その際、男性利用者から力一杯に突き飛ばされ、その場で倒され、壁に頭（額）を強打し、また転倒時に床に右腕をついた際に右腕も打撲した。更に首を捻ることになったため、むち打ちの状態となった。	68	130201	10～ 29
		トラック走行中、3車線道路の第2車線（真中）を走行中、急に心肺停止			

7	14~15	状態になり右折ラインに停止していたバスに追突した。・15時41分・・・医師が死亡を確認した時・14時58分（直前）・・・心肺停止した時・家族には虚血性心疾患と言われた。	39	40301	50～ 99
7	8~9	圧力釜の入れ替え作業をしていた同僚が釜の中に閉じこめられ熱傷で死亡。第一発見者として同僚を釜の中から助け出した。	60	10109	10～ 29
7	16~17	燃糸工場1階において第一発見者が、不要糸捲返し機前でしゃがんで作業している被災者を確認。約5分後、再度見ると被災者がその場に倒れていた。問いかけても反応がなかったので燃糸工場2階に上がり、応援と救急への連絡を依頼。その後少し問いかけに頷く程度の反応が出た。	68	10203	100～ 299
7	11~12	職場の2階作業室で利用者の作業支援中に利用者がパニックになったため、制止対応をしたところ、爪を立て足蹴りをされた。	58	170209	30～ 49
7	2~3	深夜時間帯酒に酔ったお客様にいやがらせをされ、別の従業員がなだめ、わびても1時間余り大声を出し暴れネクタイをつかみ、体当たりをされて胸にけがをした。	42	80209	10～ 29
7	12~13	売場で3時間ほどレジ業務で立っていたところ気分が悪くなり、食堂で休憩したが頭が痛くなって体温も上がり水分も受け付けなくなった。	52	80209	50～ 99
7	8~9	第4工場大型トランスミッション広場にて、立ってミーティングに参加していたところ、ミーティング終了間際に急に意識を失い、そのまま前方に倒れた。倒れた際に、床面に顔面を強打し被災した。	19	11502	1000 ～ 9999
7	16~ 17	1病棟保健室に入室している患者が失禁したので、床に敷かれた布団のリネンを交換するため左膝を立て、しゃがんで作業をしていたところ、着替え終わった患者が布団に横たわろうとしたのか、左膝にのしかかってきて、左足首に負荷がかかり負傷した。	55	130109	100～ 299
7	10~ 11	病室にて患者が興奮していたため、患者を落ちつかせようと椅子に座らせた。しゃがんだ状態でセラピストと一緒に両手と左足を押さえていたとき、患者の左足が左膝を蹴ったため床に倒れ、起き上がった際に再	33	130101	300～ 499

		度同じ部位を蹴られた。			
7	16～ 17	引取り品の積み込み作業を完了後、体調の異常に気付き、工場の作業員に休憩の要請し、休憩室で待機中に意識がなくなり倒れ、救急搬送された。	37	40301	50～ 99
7	14～ 15	昼食後、つながった輪ゴムを飛ばして遊んでいた児童A君がおり、その輪ゴムが被災者の足元に飛んできたため、危ないことを伝え、輪ゴムを帰りに帰すと机の上に置いた。A君が弁当箱を片付ける際に勝手に持ち去ろうとしたため、止めたところ、手に持っていたステンレスの水筒を振りかざし、被災者の右腕を殴った。その後、他の児童に何かあっては困るため、A君をフロア奥の台所の方へ連れていったところ、A君が殴る蹴るなどの暴力をふるい、同時にみぞおち部分に一発か二発ともに蹴りを食らい、2時間ほど動けなかった。	55	130201	30～ 49
9	15～ 16	全身に衣装を装着し、全5回のうち2回目のステージショーに出演後、膝下に力が入らなくなった。当日は朝から両膝下に力が入りづらかったが、様子を見ながら出演していた。2回目出演前にテーピングを行うが、改善されない状態で、出演、2回目出演後に社内診療所を受診し、外部病院を受診した。発生までの体調、パレード出演後に熱中症で意識を失い、意識が戻った後全身に痺れるような感覚があり、アイシング後改善したが手足の脱力が残った。パレード等通常勤務、ステージショー出演をしたが、ステージの2～3段の階段昇降で足に違和感を覚えた、3回目公演から足の震えが止まらなくなり、階段を下りる際に足の力が一気に抜けるような脱力感も強く感じた、公演終了後も足の震えが止まらなかった為、早退、急遽休みをとり自宅安静。OFFであったが、オーディションの為入社、ほとんど動かない仕事で、この症状は以前はなかった。	21	140302	10000 ～
9	13～ 14	製造中に出たチョコレートの廃棄品を置く為、体勢を低くし立ち上がる際に右膝に痛みを感じ、痛みが引かず歩行も困難の為、同日に医者に診てもらおう。	55	10104	100～ 299

9	8~9	被災者がイスに座りつつお客様2名に対して水分介助。同席していた介護士も同様に、その2名のうちの1名の水分介助を行おうとした。ただそのお客様の口の中にまだ飲み込めていない水分が残っていたため、被災者がそれを注意した。注意された介護士が激昂し、被災者に対して有形力を行使し、被災者は座っていたイスごと、左方へ倒れ込んだため負傷した。	31	130201	50~ 99
9	13~ 14	ご利用者様を送迎後、車輛を入庫して下車の時、右肩に痛みがあった、すぐに病院に受診をして、治療を受ける、1週間ほどして、痛みが強くなり、他の病院を受診する、1週間ほどの加療が必要との診断がされ、休業する。	27	130201	50~ 99
9	10~ 11	グラウンドの敷地内で、シャツ一枚の格好で頭から血を流した状態で木陰で座っていた。バス乗務の合間の清掃作業で負傷したと予想されるが、労働者が記憶なく証言を得られず、警察の捜査でも事件性はないと見られ、現状での災害発生原因は不明、負傷日に労働基準監督署に相談のうえ、労災にてひとまず対応することになった。	68	40201	100~ 299
10	15~ 16	職場の4階の部屋でインフルエンザ予防接種を受けた時、身体が不安定な状態で受けた処置によって、当注射の何らかの影響で右腕に神経症状が現れた。	32	130101	500~ 999
10	5~6	店内で調理の作業をしているときに、突然2人組の男から殴る蹴るなどの暴行を受け、店内にあった包丁で切りつけられた。左側頭部を切れ(9針)、体に打撲、あざを負った。	33	140201	10~ 29
11	9~ 10	グラウンドにてラグビーの練習中、他の選手にタックルに入った際、患部が相手選手の臀部と衝突し、その後、相手選手の臀部に押しつぶされるように転倒し受傷した。	29	170209	300~ 499
12	11~12	被災者は清掃作業中、休憩を終え、監視ビデオで確認したところでは、エントランスとアプローチ外周の拾い掃きを行っていた。その後、監視ビデオでは死角になっている外周の掃除をしていた。しばらくして、住民が倒れている被災者を発見し、救急車で向かったが、心臓発作	77	150109	50~ 99

		で死亡が確認された。			
12	13~14	派遣先製作所のルームエアコン製造ライン最終作業にて、パネル（350mm、横120mm、奥行300mm、重さ500g）を段ボールから取り出してシールを貼り、キッキングハンガーへ表向きに置く作業で、1日約1000台超分行っていた。数ヶ月前から手首に違和感があるとの申し出があり、別の軽作業に変更するなどして様子を見ながら作業を行っていた。その後、当月作業中に激痛があり、様子を見たが痛みが引かず受診した。	59	170101	300~ 499
12	13~14	ルームエアコン製造ライン最終作業にて、パネル（350mm、横120mm、奥行300mm、重さ500g）を段ボールから取り出し、シールを貼り、キッキングハンガーへ表向きに置く作業を、1日約1000台超分行っていた。数ヶ月前から手首に違和感があるとの申し出があり、別の軽作業に変更するなどして様子を見ながら作業を行っていたが、当月作業中に激痛があり、様子を見たが痛みが引かず受診した。	59	11402	1000 ~ 9999

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_08.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html)